

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 15日

事業所名 ギフテッド川内

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		学習室と共感や運動の部屋とで使い分けをしており十分なスペースがある。
	②	職員の配置数は適切である	○		基準の人員以上で営業を行っている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		色やイラスト等を用いた環境設定を行っている。絵カードやタブレット、スケジュールボードやパテーション等、お子さまにあわせた道具を使用し環境を整えている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清潔で安全な環境づくりを行っている。活動内容にあわせて部屋の備品の移動等を行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		業務の見える化や、問題提起の環境、毎週の会議や1on1を通じての業務改善に努めている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		月に1度のアンケート『ご家庭とのサポート連携シート』を活用し、お子さまやご家庭の情報のヒアリングをおこなっている。ニーズの変化等にも対応している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ・SNSを通じてアンケートの実施や結果報告を行っている。研修の時期や内容についての見直し等も行っている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		外部スタッフによる1on1やななめ会議などを取り入れており、業務やスタッフのスキルアップマネジメントを受けている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎週の週会議や月1回の全体会議等での社内研修を行っている。また、研修費の会社負担等学びやすい環境がある。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		活動ごとに様子の共有を行っている。各支援員からの評価等をもとに話し合いを行い、支援計画を立てている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		月間でお子さんの行動の変化などを評価しており、行動の変化を記録しながら振り返りが出来る体制をつくっている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、	○		ガイドラインにそった内容で必要な支援を考え、対応している。

	「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている				
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎週の会議を中心に、お子さまにあわせた提案ができるように話し合いを行っている。	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		実践後の振り返りを行い、継続するものや変更するものなど、都度調整している。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		お子さまのご様子や発達段階に応じて個別活動と小集団活動とを組み合わせる内容となりように計画し実践している。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼や昼礼を通じて、お子さまの課題設定や評価ポイント、支援員の役割などについて確認している。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の業務後に終礼があり、振り返りや情報共有を行っている。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援計画にそった活動内容に関するものの記録とともに、生活面や感覚面、コミュニケーション面といった総合的な記録を行い、支援につなげている。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリングを実施し必要に応じて計画の更新を行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		店舗責任者や有資格者が現場での支援を行っており、担当職員が会議にでている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		地域の関係機関との連携を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		現在該当者はない。 今後受け入れがあった場合連携を行っていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在該当者はない。 今後受け入れがあった場合連携を行っていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の方の要望や関係先の要望に応じて情報共有を行っている。直接の連携は少なく、主として相談支援員さんを介した情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の方の要望に応じて情報共有を行っている。 直接の連携は少なく、主として相談支援員さんや保護者様を介した情報共有を行っている。

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		現在は連携できていないが、今後の連携を検討している。	
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	今後検討していく。	
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		日程が合うものに関しては参加や情報収集などを行っている。	
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		お迎えの際に活動の様子や生活の様子など相互に情報共有を行っている。必要に応じて LINE や電話、連絡帳等での連絡を行っている。	
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		お子さまの状態像や保護者様の困りごと等にあわせて、対応方法や環境設定等の提案を行っている。ホームプログラム等の提案もしている。	
	保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時のご説明に加え、制度の変更や内容の変更等があった場合には書類とともに説明を行っている。不明点等があった際には迅速に対応している。
		㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		面談や相談の機会を設け、計画について説明し同意いただいている。
		㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談や相談の機会を設け、お子さまの状態像や保護者様の困りごと等にあわせて、対応方法や環境設定等の提案を行っている。ホームプログラム等の提案もしている。
		㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		法人内でのイベント時に、家族参加型として開催し、相談や連携、交流の場を設けている。
		㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		お声があった際には迅速かつ適切に対応し、今後の改善策等についてお伝えしている。
㉚		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月会報を作成しており、活動報告や予定の連絡等を行っている。	
㉛		個人情報の取扱いに十分注意している	○		十分に注意して取り扱っている。	
㉜		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子さまにあわせた表出方法で意思を伝えられるようにしている。	
㉝		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		開所時の内覧会を行った。今後も地域での連携をはかりながらの運営に努める。	
非		㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染	○		各マニュアルを策定し、スタッフ研修や訓練等を行

	症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している			っている。玄関への掲示を行っている。
④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に 2 回以上の訓練を行っている。訓練後は掲示物等での報告も行っている。必要備品の見直しも行っている。
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		ご契約時と新年度に服薬状況や治療歴等に関する情報を記入していただいている。医療機関受診後には聞き取りを行い、情報の更新や関係医療先の確認等を行っている。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		ご契約時と新年度にアレルギーに関する情報を記入していただき、アレルギーの有無の確認と対応方法の確認、関係医療先の確認を行っている。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書を作り周知し再発防止のための対策を行っている。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人内での定期研修に加え、店舗内での研修や研修参加報告会等を行っている。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		虐待防止・権利擁護について徳島県の研修をうけ、研修報告を行っている。ご契約時に保護者様への説明を行っている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。